

人文学研究科【人文学(グローバル・アジア・スタディーズ)】

プログラム名	和文	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)
	英文	Humanities (Global Asian Studies)
開設研究科	人文学研究科	
履修対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程	
修了要件	修了要件単位 (科目) 数	本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
	14単位以上	
趣旨・概要	<p>「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture) に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、アジアの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。</p>	
到達目標 (修了時に身につく能力)	<p>本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。</p> <p>DWAAの到達目標</p> <p>◎異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ◎新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。</p>	
カリキュラムの構成	<p>・「グローバルフィロソフィー」「世界の中のアジア史」「グローバルアジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。</p> <p>・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせることで選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。</p> <p>・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読も開講する（上記④に対応）。</p> <p>・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。</p>	
履修資格・条件	<p>【履修対象】</p> <p>1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学(グローバル・アジア・スタディーズ)」を修了した学生で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学プログラムのいずれかに入学する者。</p> <p>2. 上記1以外の者で、2022年4月に、人文学研究科博士前期課程の外国学専攻、言語文化学専攻、日本学専攻_応用日本学プログラムのいずれかに入学する者（又は、10月入学の者は2021年10月に言語文化研究科の博士前期課程に入学した者）で特に希望する者。</p> <p>【定員】 若干名</p> <p>【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上、履修生を決定する。</p>	
前提知識の目安	<p>アジアの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。</p> <p>アジア諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。</p>	
特記事項	<p>大阪大学大学院人文学研究科は、大学院文学研究科と大学院言語文化研究科の統合によって、2022年4月に発足する予定である。</p> <p>学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。</p>	
履修申請	<p>9頁を参照のこと。</p> <p>履修申請書はMLEのホームページから入手できる。</p>	
問合せ先	<p>人文学研究科教務係 Email : bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>	